

2025年10月30日

オーストラリア・ブリスベン所在のハイグレード大規模オフィスビル 「345 Queen Street」への不動産共同投資に参画

日本国土開発株式会社(東京都港区、代表取締役社長:林 伊佐雄)は、SMFL MIRAI PARTNERS (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール、取締役社長:岸 大作)、ARAVEST PTE. LTD. (シンガポール、CEO: Moses Song)、ケネディクス株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長COO:寺本光)、NECキャピタルソリューション株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:菅沼 正明)と共に、豪州ブリスベン所在の大規模オフィスビル「345 Queen Street (以下「本物件」)」の共有持分50%分に対し共同投資を行いました。

本物件は、豪州第三の都市ブリスベンにおいて、CBD (Central Business district:中心業務地区)の中でも、特に優れた立地特性を持つ「Golden Triangle」と呼ばれるエリアに所在しています。同市は、2032年に開催されるオリンピックを控えて高い経済成長を続けており、賃貸オフィス市場も堅調です。本物件は立地の優位性に加え、競争力のあるクオリティを維持しているハイグレードのオフィスビルであり、会計事務所や金融機関、政府系テナントなど多様な業種のテナントが入居しており、安定した収益を見込めます。



■「345 Queen Street」の概要

所 在 地 : 345 Queen Street, Brisbane,

OLD 4000. Australia

階数:41階、地下4階

敷地面積 :約 2,979 ㎡ (901.15 坪) 貸床面積 :約 40,446 ㎡ (12,234.92 坪) 稼 働 率 :95.0% (2025 年 10 月末時点)

日本国土開発は、現在進行中の3カ年経営計画「中期経営計画2027」で成長分野への投資方針を掲げており、本物件はその一環で行う、初めての海外不動産投資になります。今後も、アジア・オセアニアなどにおける不動産投資を通じ、企業価値の向上を目指していきます。

以上

この件に関するお問い合わせ先